



岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

2018年第10週
(3/5~3/11)

平成30年3月15日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

- インフルエンザは、県全体で定点当たり11.93人となり、前週（14.44人）より減少しています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、飛騨保健所管内で患者の報告が多くなっています。
- ロタウイルスによる感染性胃腸炎（基幹定点）は、前週から患者の報告が増加しています。

■ 定点把握対象疾患の発生動向（インフルエンザ定点:87か所、小児科定点:53か所、眼科定点:11か所、基幹定点:5か所）

● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

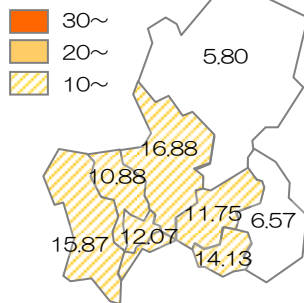
レベル	疾患名	基準	該当保健所（定点当たり報告数）
警報レベル	インフルエンザ	定点当たり30人以上 (10人を下回るまで継続)	岐阜市(12.07)、岐阜(10.88)、西濃(15.87)、 関(16.88)、可茂(11.75)、東濃(14.13)
注意報レベル	なし	—	—

※定点当たり報告数が一定の基準を超えた場合、保健所単位で「警報・注意報レベル」を発信しています。

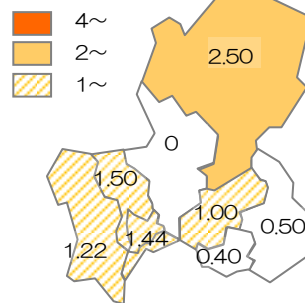
警報レベルは大きな流行が発生または継続していると疑われることを、注意報レベルは流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

● 注意したい感染症の保健所別流行状況（地図中の数値は定点当たり報告数）

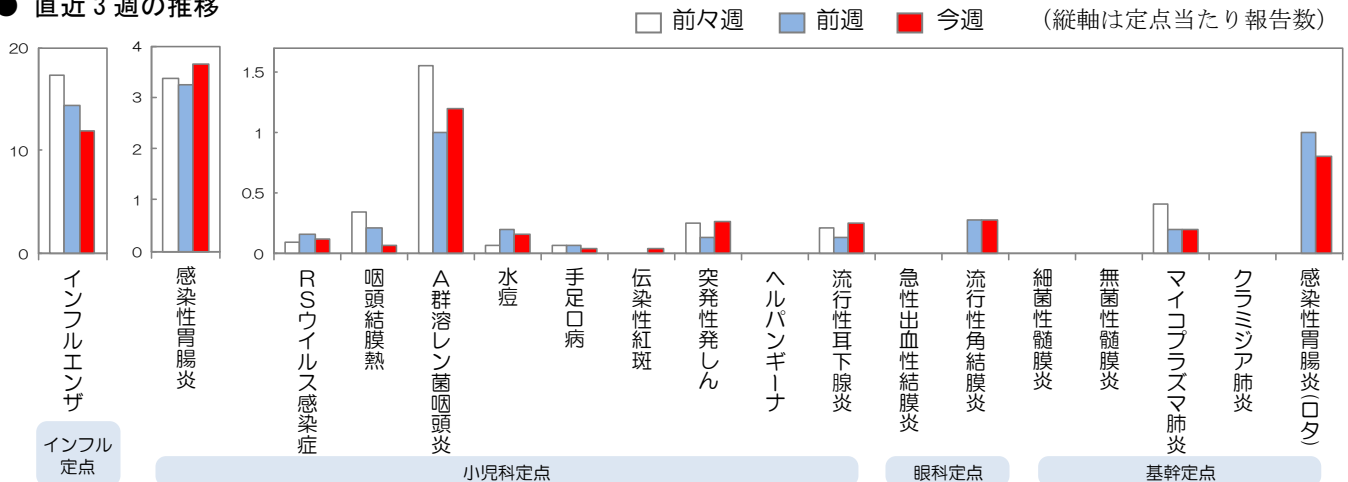
<インフルエンザ>



<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>



● 直近3週の推移



■ 全数把握対象疾患の発生動向

● 今週届出分

- 1類感染症：なし
- 2類感染症：結核 5例
- 3類感染症：なし
- 4類感染症：なし
- 5類感染症：後天性免疫不全症候群 2例、侵襲性肺炎球菌感染症 2例、梅毒 2例、播種性クリプトコックス症 1例

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターのHPをご覧ください。

感染症発生動向調査週報（IDWR） <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

※今週のトピックスはありません。

岐阜県感染症情報センターHP <http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>